

台東新聞

2017年度作業計画 昨年同様で確定!

「平成29年度」作業計画については、台東区全域が戸別収集になり、1年が経過しての作業計画になります。

計画については、今年度(28年度)と同様の作業計画であるため、積載基準・能率・総台数等は変更ありません。軽小についても今年度と同様であります。但し、直営小プについては退職に伴う減員のため、今年度7台稼働を1台減の6台稼働となり、この直営小プの1台を雇上

任長任部	掃合部
責員責宣	清組支
行委宣	京働東
行集	東働東
発執編教	東働東

2017年3月4日
第33号

小プ1台に変更します。

軽ダについては今年度と同様に1台稼働になります。よって、総台数は今年度同様になります。

この計画について、この間、清掃リサイクル課・事務所と折衝・協議を重ね、執行委員会及び支部委員会で議論をへて確認し、2017年2月10日(金)16時30分、区役所1003会議室での団体交渉で提案を受け支部として了承を頂きました。

今後は、人員の関係になります。人員は別途協議となつているため、新規採用に向けて、今現在も清掃リサイクル課・事務所と折衝・協議等を行っています。

「戸別収集を円滑に実施するには、正規職員で作業しなければならぬ」

「29年度中の新規採用をする事」等を折衝・交渉の場等で要求をしています。

引き続きの、全組合員の結集と協力をお願いいたします。

書記長

原田 輝高



全国青年団結集会 参加リポート

青年部副部長
瀧澤 幸広

今回私が参加した全国青年団結集会は香川県琴平町で行われ、33道府県、15産別、2団体、計500人の参加がありました。

参加して感じたことは、官民間問わず業務に見合った給料、待遇がなされていないということです。

分散会ではバスの運転手の方がいて、「休憩で寝るのにも動いているバスの中で寝ていたり、残業や宿直をしない」と十分な

給料が出ないので体はきつい、無理して働いている」などの意見がありました。

本来であれば一日の決まった労働時間で十分な給料が支払われるべきであるのに、無理な労働環境で働いてやっと十分な額というのとはとても違和感がありました。そのため、趣味や好きなことに時間を割けず休みの日はただ寝ているだけという「働くために生きていく」ということになってしまいました。

また、東京、公務員というだけで給料が高いと思われていることに驚

きました。民間の方からすると公務員というだけで給料がいい、残業が無くすぐ帰れると思っっているそうです。清掃の給与実態や労働環境を話すとても驚かれました。その中で、残業が無いかわりに給料が安い、残業など日々の労働がきつくても給料がいい、このどちらがいいかという話になりました。ある方は給料が安くても自分の時間を持てるほうがいいと言っていました。しかし、まずこの二択にすることがよくないと思いましたが。働いた対価として相応の給料は支払われてしかるべく、そして十分に働ける環境を整えるのは雇用側の問題だと考えるからです。そして、これらの条件

を勝ち取っていくことが必要であり、そのためにまわりの仲間と団結して交渉していくことが組合活動だと思いました。講師の松上さんの講義では企業が一斉に春闘を行うのは、ひとつでは弱い企業も連帯して交渉していけば良い条件を勝ち取っていくからとの話がありました。今回地域は異なれど同世代の方たちと話をし、みんな同じことで悩んでいた将来に不安を抱いていたりました。仲間と話をすることで悩んでいるのは一人ではない、協力して頑張っていこうという気持ちになりました。自分たちの声をしっかり上げる、そして働くために、生活していくた

めに必要な条件を勝ち取っていくためには、仲間たちと行動していくことが必要だと再認識しました。集会に参加させていただき、有難うございました。これからも青年部は団結して頑張るつもりですので、ご支援を宜しくお願いします。

2017年2月4日 (土)
於：今戸本庁舎5階会議室
支部旗開き開催



去る2月4日(土)に平成29年度支部旗開きが行われ、来賓として、依田所長と区職労の東坊城委員長が出席されました。

染谷委員長の開会挨拶の後、依田所長から「皆さんが働きやすい職場環境づくり、全体で取り組んでいきたい。また、今年一年共々に頑張っている」との挨拶がありました。

続いて、区職労の東坊城委員長からは「一律拋出の問題などで、清掃労組の皆さんとタッグを組み、力を合わせ共闘して行こう!」との熱い激励を頂きました。

題や課題を解決する為に今年も団結で、頑張ろう!との決意で散会となりました。皆さん、今年も宜しく宜しくお願いします!



東坊城委員長